

災害発生時の初動体制を確認!! 栃木県・那須町防災図上総合訓練

8月3日、災害発生時に想定される初動対策を実践することで、災害発生時の災害対応ノウハウの向上や災害対応力の向上を目指し、栃木県と那須町合同の防災図上総合訓練を実施しました。今月号では、災害時の町の体制や避難所の様子をお伝えします。

想定災害および町の体制

大型で猛烈な台風が強い勢力を保ったまま日本に上陸。関東地方を通過し、栃木県に接近。本町では、大雨警報（浸水害・土砂災害）および洪水警報が発表され、さらに、芦野地区を中心に激しい雨が継続して降っており、余笹川において氾濫警戒情報が発表された。

今後さらに雨が強くなり、災害が発生する恐れがあることから、町災害対策本部を設置。また、町は高齢者等避難【警戒レベル3】を発令し、芦野基幹集落センター、伊王野基幹集落センター、スポーツセンターに指定避難所を開設した。

訓練内容

○図上訓練(災害対策本部訓練) 那須町役場 本部訓練と状況付与型シミュレーション訓練

※状況付与型シミュレーション訓練とは、実際の災害に近い場面を設定し、訓練者に事前予告なく、さまざまな状況を付与し、それに対しどのように対処するか検討・判断させる訓練です。

○実動訓練 芦野基幹集落センター 避難所設営訓練、水防訓練（住民避難誘導や土のう作りなど）